



嶺南教育実践フォーラムへの道 part5【研究員号】

研究員グループテーマ

一人一人が主体性を発揮できる学校づくり ～子どもの対話的な学びを支える～

一学びに向かう主体性を発揮するには何が必要なのか

今年度は、対話的な学びに着目して研究しました。他者や教材などとの対話によって、考えに広がりや生まれたり、考えが深まったりします。対話的な学びを通して、充実感、達成感、満足感など、学ぶ楽しさや喜びを味わうことができ、子どもたちがさらに主体性を発揮できるのではないかと考えました。

そこで、対話的な学びを支える伴走者として、授業をどう構築するのか、子どもの姿をどう見取るのかなど、教師の関わり方に焦点を当てて、各分野で研究しました。

フォーラムでは、教師がどんな支えをしたのか、子どものどんな姿が見られたのかをお伝えし、みなさんと語り合いたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

澤田（小学校算数科） 2/7(水) 発表

数学的な見方・考え方を働かせる算数の授業づくり

「数学的な見方・考え方」とは何なのでしょう？

子どもの姿を具体的にイメージすることも難しいですね。私はこのようなアイテムを用いた授業づくりを通して、子どもがどんな見方で、どんな考え方をしながら学んでいくかを追いました。「算数の目」で子どもの学びを考えてみませんか？



谷江（小学校国語科） 2/7(水) 発表

批判的思考を働かせる国語の授業づくり

～学びの自覚に着目して～

批判的読みを取り入れ、自ら言葉にこだわって思考する姿を目指し、研究を進めました。「教材を使って何を教えたらいいの?」「授業で学んだことは、子どもたちが使えるものになっているの?」そんな問いを持たれている方、子どもの学びの自覚の過程に寄り添った授業づくりについて一緒に考えてみませんか？

大橋（中学校英語科） 2/7(水) 発表

対話を取り入れたライティングの授業づくり

英語で「書くこと」に困り感を持つ子どもは多いですね。生徒が主体的にライティングを進めていくためには、対話が必要になると考えました。子どもが、相手意識を働かせ、対話を通して内容と言語を吟味し、英語で表現する授業づくりについて研究しました。一緒にライティングの授業について考えませんか？

フォーラムで
語り合いませんか？



柿本（中学校国語科） 2/8(木) 発表

批判的思考を働かせる国語の授業づくり

～根拠を明確にした考えを持つために～

話し合い活動が充実するためにはどうしたらよいのでしょうか。私はまず、根拠を明確にした考えを持つことが大切だと考え、言葉にこだわる授業づくりを研究しました。言葉にこだわるとは？私の研究を通してみなさんと考えていきたいです。

坊（中学校社会科） 2/8(木) 発表

資料から多面的・多角的に考察する

社会科の授業づくり

社会科では資料を読み取る場面を設定することが多いですが、子どもは資料からどんなことに気づき、考えているのでしょうか？私は複数の資料と考える視点をを用いた授業づくりの研究を進めてきました。授業の中で、資料をどのように活用していけるのか、ぜひ一緒に考えてみませんか？

